

平成31(2019)年度介護支援専門員更新研修(実務経験者)日程表

Bコース

<専門研修過程Ⅱ相当>

| | 月日 | 曜日 | 時間 | 科目名 | 目的 | 区分 | 時間 | 会場 |
|---------|--------|----|-------------|---|---|----------|----|---------------|
| 1 日目 | 10月8日 | 火 | 9:15-9:30 | オリエンテーション | | | | コンセーレ 大ホール |
| | | | 9:30-13:30 | 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 | 介護保険制度の最新の動向や地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。 | 講義 | 4 | |
| | | | 14:15-18:15 | リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 | リハビリテーションや福祉用具等の活用事例を用いて演習等を行うことにより、リハビリテーションや福祉用具等の活用に係る知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られたリハビリテーションや福祉用具等の活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。 | 講義 演習 | 4 | |
| 2 日目 | 10月16日 | 水 | 9:15-13:15 | 認知症に関する事例 | 認知症に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、認知症に関する知識及び認知症の要介護者等に有効なサービスを活用した効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた認知症の要介護者等に対して有効なサービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。 | 講義 演習 | 4 | コンセーレ 大ホール |
| | | | 14:00-18:00 | 家族への支援の視点が必要な事例 | 家族への支援の視点が特に必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、家族への支援の視点も踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた家族への支援に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。 | 講義 演習 | 4 | |
| 3 日目 | 10月23日 | 水 | 9:15-13:15 | 状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例 | 状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、介護保険で提供される地域密着型サービス等の活用に係る知識及びケアマネジメントの手法を修得する。 | 講義 演習 | 4 | コンセーレ 大ホール |
| | | | 14:00-18:00 | 看取り等における看護サービスの活用に関する事例 | 看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた看護サービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。 | 講義 演習 | 4 | |
| 4 日目 | 10月30日 | 水 | 9:15-13:15 | 入退院時等における医療との連携に関する事例 | 入退院時等における医療との連携に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、医療との連携に必要な知識及び医療との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた入退院時等における医療との連携に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。 | 講義 演習 | 4 | コンセーレ 大ホール |
| | | | 14:00-18:00 | 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 | 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、利用者が活用することができる制度に関する知識及び関係機関等との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた社会資源の活用に向けた関係機関との連携に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。 | 講義 演習 | 4 | |
| | | | 18:00-18:15 | 修了式 | | | | |

※各日、研修終了後に5分程度の事務連絡があります。